

会 議 録

会議の名称	平成30年度 第1回笠間市防災会議議事録		
開催日時	平成31年2月18日(月) 午前10時～11時		
開催場所	笠間市役所本所 3階 全員協議会室	事務局	総務部総務課 危機管理室
会議の公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <非公開・一部公開とした場合の理由>	傍聴者数	0人
出席者	委員：28名 事務局：西山総務課長，石川課長補佐，菊地危機管理室長，近藤係長		
議題	【議事】 (1)「笠間市業務継続計画」(案)について (防災会議資料1) (2)「笠間市原子力災害広域避難計画改定」(案)について (防災会議資料2)		
議 事 (審議経過及び発言内容)			
1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 (1)「笠間市業務継続計画」(案)について 会 長 「笠間市業務継続計画」(案)について，お諮りさせていただきます。事務局より説明願います。 事務局 資料に基づき「笠間市業務継続計画」(案)を説明。 会 長 「笠間市業務継続計画」(案)について事務局から説明がありました。この件につきまして，委員の皆さんからご意見，ご質問をいただきたいと思えます。 委 員 想定する地震について，昨年12月に茨城県における地震被害想定の見直しをおこなった。県内に大きな被害をもたらすおそれのある7つの想定地震が設定されているので，今後，笠間市の地域防災計画を見直す際，県で想定した地震について反映させ策定するとよいと思われる。 事務局 県の想定地震において，7パターンの中から一番大きなもので，震度6強の影響があるとされているが，笠間市地域防災計画での地震被害想定は震度7であり，県の想定より上回っているため，笠間市業務継続計画は，笠間市地域防災計画を基準に想定している。今後，笠間市地域防災計画を見直す際には，県想定7パターンを取入れた形で策定する予定である。 委 員 想定する地震について，科学的根拠があるのか。 委 員 過去の大きな地震のデータなどから地震学者が計算式に基づき，国の中央防災会議などが地震の大きさを想定している。 会 長 この他にご意見，ご質問はありませんか。ないようですので，この「笠間市業務継続			

計画」(案)については原案のとおりご承認をいただくことでよろしいでしょうか。

一 同 異議なし

(2)「笠間市原子力災害広域避難計画改定」(案)について

会 長 「笠間市原子力災害広域避難計画改定」(案)，お諮りさせていただきます。事務局より説明願います。

事務局 資料に基づき「笠間市原子力災害広域避難計画改定」(案)を説明

会 長 「笠間市原子力災害広域避難計画改定」(案)について，事務局から説明がありました。この件につきましてご意見，ご質問をいただきたいと思います。

委 員 この計画改定が原案のとおり可決された場合，市民への広報はどうなるのか。

事務局 今回は，改正の内容が大きく変わるものではない。ホームページへの掲載や防災講座などで広報していくものとしており，あらためて説明会を開催する予定はない。

委 員 東海第二発電所から30km圏内となっている岩間地区の一部はどこなのか。

事務局 安居地区の一部が30km圏内となっており，一時集合場所については，北川根小学校になっている。

会 長 この他にご意見，ご質問はありませんか。ないようですので，この「笠間市原子力災害広域避難計画」(案)については原案のとおりご承認をいただくことでよろしいでしょうか。

一 同 異議なし

4. その他

1) 原子力災害広域避難マップについて

栃木県内5市町の避難先の中継所基幹避難所が一目で分かることや笠間市内30km圏内の地域が見やすいなど一つの冊子に集約された原子力災害広域避難マップの紹介。

2) 停電情報について

停電情報，気象情報，地震情報のお知らせが届く東京電力ホールディングスの防災情報アプリの紹介。

5. 閉会